



ROTARY CLUB OF

NARA - WEST

DISTRICT WEEKLY BULLETIN

2650

No. 2390

2020. 1. 30

創立 1969年(昭和44年)12月13日

例会日 毎週木曜日18:00より

事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地

例会場 奈良ロイヤルホテル内

TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2019~2020年度
国際ロータリーのテーマ

2019~2020年度
地区のスローガン



伝統と革新 世界はひとつ

国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

RI第2650地区ガバナー
佐竹 力總

会長 安井 清悟
会計 相澤 万裕子
理事 渡邊 巖

副会長 杉村 仁
会場監督 井上 直治
会報委員長 野阪 幸男

会長エレクト 佃 尚彦
理事 植野 洋志

直前会長 追山 重法
理事 谷垣 嘉輝

幹事 佐川 寛一
理事 金田 宗寛



入江会員
令和2年元旦、
素晴らしい朝のスタートでした



加藤会員
妻と長女と一緒に(霊山寺にて)

今月は 職業奉仕 月間です

第22(2390回)例会プログラム令和2年1月30日(木)

移動例会

越後押熊店にて

第21回(2389回) 例会報告 2020. 1. 23(木)
ソング

「四つのテスト」

来訪者紹介

陳 セイさん 米山奨学生

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通算 2389 回	44	10/12	24/32	8	81.0%
通算2387回修正	44	12/12	32/32	0	100.0%

会長の時間 (安井会長)

久しぶりに奈良ロイヤルでの例会で御座います。やはりいつもの例会場で行う方が落ち着きます。松の内も過ぎ本格的に令和2年が始動してきたように思えます。そんな中で一昨日、30歳の公務員が近鉄奈良駅でホームからホームに飛び移っている動画がテレビで放送されました。降車のホームから乗車のホームまで飛ぶ方も飛ぶ方ですが、それを動画で撮る方も撮る方です。記者会見で奈良市の幹部が陳謝しておられました。近鉄奈良駅に謝りに行くらしいですが、謝られる方も、「どうたしなめたらええのか」わからないと思います。

小さい子供ならいざ知らず、ええ社会人ですから。朝のワイドショーの1番手に取り上げられていました。良い事で公務員の方がニュースになることは嬉しい事なんですが、こんなニュースはいただけません。一般常識がわからない社会人が増えているのでしょうか。

仕事は立派にできる。家庭も持っている。しかし、一般常識に著しく欠ける。その様な人が私の周りにも結構います。何をしてもええかげん。聞いてられないような嘘をつく。時間にだらしない。弱い人をいじめる。などなどです。ロータリオンの方々には絶対にそんな人ではないはずで。

今月は職業奉仕月間。市内企業の優秀な人を表彰致します。その様な方ばかりが奈良市内の企業において一生懸命に仕事に打ち込んでくれたら、きっと素晴らしい未来が開けるのではないのでしょうか。楽しみにしています。職業奉仕委員長様。よろしく願いをして会長の時間とさせていただきます。



理事会報告

1: 細則追加と変更

- ・名誉会員について、細則に明記していくことは承認。詳細については、2月の理事会までに各々が考える。その後例会にて発表する。
- ・会長選任について、指名委員会による場合は指名委員を現会長、P会長、会長エレクトによって構成し、被指名者を決定しこれを年次総会に報告する。
- ・会長会は、長期計画策定委員会を構成する。委員会詳細は別途配布する。

2: 奈良クラブ合同例会について

2月27日12時半から奈良ホテルにて開催。

3: その他

- ・地区大会の家族参加は応募する家族が居ませんので、従来通り会員のみの参加とします。
- ・2月20日の移動例会は、沙山華(中華料理)で行う。

以上3議案を例会にて報告し承認を得た。

会員夫人の誕生日

■ 1月生まれ ■

松川信夫P会長夫人 和子様 1月21日生まれ
野阪幸男会員夫人 映子様 1月25日生まれ

皆様おめでとうございます

幹事報告

令和2年1月30日の奈良西ロータリークラブ50周年記念式典のお疲れ様会は、山川会員の押熊店で、18時より開催致します。お店と駐車場は、貸切になります。駐車場に警備員の方が配置されていますので、誘導に従って駐車してくださるようお願い致します。

ニコニコ報告

安井清悟会長

久しぶりにホームグラウンドに戻ってきました。奈良ロイヤルでの例会にニコニコ。

林秀彦P会長、谷垣嘉輝、有馬康明、渡邊巖、松山悦啓、東山光秀、榎木晋作、猪上正孝、笹本麻琴、寺田信弘会員

中西先生、本日の卓話大いに奈良市政を斬ってください。楽しみにしています。

三木武彦P会長

第3回内輪会で偶然にも優勝させていただきました。ありがとうございました。

松川信夫P会長

家内の誕生日祝、美味しい菓子ありがとうございます。

中西吉日出会員

本日は解かりやすく奈良市政の課題をRCの皆様にご説明いたしたく、よろしく願いいたします。

大瀧正徳P会長

松の内もあけて、やっと正月気分も抜けた頃となりましたが、今度は中国武漢市で発症の新型ウィルスの問題で中国人の行きたい国NO1の日本としては非常に気がかりなところです。春節を前にして奈良はもう中国人でいっぱいです。今月下旬の本番にはどんな具合になるのか心配なところです。

川野隆祐会員

最近出席率が悪くすいません。その分社会奉仕がんばってます。

内藤源美会員

渡邊先生お世話になりました。おかげさまで、まだまだ元気でお酒も飲めそうです。

福川益則会員

二人目の孫誕生、女の子でした。ニコニコ。

「中西議員、奈良市を語る」

中西 吉日出会員



高いところから失礼いたします。本日は安井会長から、奈良市と市議会について皆さんに報告をとのご指名をいただき大変恐縮しております。

私事ではありますが奈良市議会議員としての活動が、早くも5期目の半分が経過することとなりましたが、常に変わらぬ皆様からのご支援励ましに対しまして心から御礼を申し上げます、有難うございます。

この5期目も半分が過ぎようとしておりますが、奈良市政そして奈良市議会の状況も私にとっては大変不安なところが多々感じ取れるところであります。

本日はそのような内容をお話したいと思いますが、まずは現在の議会の状況を知っておられると思いますが、簡単にご説明して、その後

に現在の奈良市の政策推進状況を平成31年度予算の概要をもってお話させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。まず、現在の議会の会派構成は次のとおりとなっております。

自民党奈良市議会・結の会が11名、公明党奈良市議会議員団が7名、革新新政会が7名、日本共産党奈良市議会議員団が5名、無所属が7名、合計で37名でございます。

さて奈良市の抱える課題は数多くありますが、この一年奈良市議会が多くの議論を費やした課題の中でも、庁舎の耐震化工事と新斎苑建設の2点が考えられます。これらの課題について私はまず市民の側にたって正しい方向性を考え議会で市長の方針に反対の姿勢を貫いてきました。

庁舎の耐震化工事は大きな課題でありました。奈良県知事からの建て替えの提案もありましたが、市長は現施設の耐震化と並行して内部の改良を見込み多額の補正予算を計上しました。私は将来必ず移転新築が必要となるならば、今は出来るだけ経費を抑えた応急耐震工事を施工して、並行して移転新築の検討をすべきと考えました。この考えは財源が借金とされておりましたので、今の子供たちが将来に背負う借金の負担を出来るだけ軽減しておくべきということが大きな理由であります。

また、新斎苑建設については、未だに地元の住民の方から土壌に関する不安の声が届けられており、納得のいく説明の場を設けて欲しいとのことですが市長は話し合いに応じる気持ちは全く持ち合わせず、強引に施設の建設を進めています。地元住民の不安は全ての市民の不安であるわけですから、行政の責務としての説明責任があると考えています。

私はこのような理由からこの2点の事業には基本的に反対の姿勢を崩す気持ちはなく、今後も正しい判断を市政に求めていく考えであります。

一方市議会の体制は、自民党・結の会と公明党奈良市議団が与党会派として市長の市政運営も大方の賛成の意思で活動されており、無所属の方で数人の方も同じ考えでおられることから、市長の議会対策は概ねスムーズと言いますか素通り状態となっております。以上が奈良市議会の体制です。

それでは、次にお配りしたカラー刷りの資料によって奈良市の予算の状況をご説明したいと思います。

本日は平成31年度予算といいましても5月以降の11カ月分は令和元年度の予算についてお話させていただきたいと思っております。

この予算はすでに10か月を経過しており、時期はずれじゃないかとの思いも持たれると思っておりますが、今日はその説明の中で注目すべきことなどを中心にお話させていただきます。

資料はカラー刷りの4枚ものですが、皆さんお持ちでしょうか？お手元に無い方はご遠慮なく申し出て下さい。皆さんよろしいでしょうか？それでは、始めさせていただきます。

この資料は(ならしみんだより)の5月号をコピーしたものですから、見たよという方もいらっしゃると思っております。1ページ目ですが、ここでは、数字で示す予算の概要が表示してあります。

まず一番上の表になりますが、これが本年度の予算の総額です、上段の一般会計が1千3百37億9千万円ですが、ここに書いてありますように主な市の仕事の予算が一般会計に計上されています。

福祉や教育や土木関係のほか観光や商工そして消防や保健衛生そしてごみ処理などの主な施策は全てこの

一般会計に計上されています。その他の特別会計は国民健康保険や介護保険等の保険料を財源として明確な使い道を示すために独立した会計処理を求められているものです。

次の公営企業会計はこれも水道料金や医療費等で賄う会計として企業的な位置づけで会計処理を求められているものです。

奈良市の予算規模は2千3百94億5千7百30万円でございます。今から40年程前の予算規模が約230億円くらいでしたからこの間で10倍になっているのです。その理由は勿論経済価値が高くなっているのは当たり前ですが、それよりも大きな要因がございます。

皆さんご存じだと思いますが、お話をさせていただきますと、思い出して頂けるんじゃないでしょうか。その当時は平城ニュータウンの開発が急速に進み人口は急激に増大しました。また団塊の世代の第2次出産ラッシュもありましたがこれらにより、市税の収入は一気に増収となったのです。そして支出面ではこれらの要因により学校施設が足りなくなりプレハブで教育が行われる横で校舎の新築や増築が行われ、道路や公園の整備も相当な資金投入があったと聞いております。

次に下の丸い円のグラフをご覧ください。収入を歳入といいましてその内訳がグラフになっています。ここで注目すべきは市税の数値です。歳入の約4割を占めていますが、その総額は約533億円であり、しかしこの市税は平成8年度のピーク時には630億円であったのです。これはご存じのバブル経済によって一気に増大したのですがバブル崩壊によってこれまた一気に減収となってきました。100億の財源を失ったのですから、奈良市はその政策事業を見直して対応すべきでありましたが、一旦市民の皆さんに示した福祉や教育などの施策はそう簡単には切ることが出来ず、厳しい財政状況にどんどん追い込まれてきたのであります。

一方下の円グラフは支出に係る歳入を示したものです。このグラフは歳出の性質別の割合を見ていただきますが、3つの性質に注目していただきます。円の右から最初の扶助費・そして一つとばして人件費そして次の公債費です。右に説明が書いてありますように扶助費は法律等によってきまっている生活保護や障害者支援などの福祉の経費であり、人件費は市職員の給料などであり、公債費は学校や道路を造る際に国や銀行から借り入れた借金の元金と利子の返済であります。

これらは必ず支出しなければならない義務的経費とよばれていますが、この3つを足しますと725億円にもなり、歳出の5割を超えることとなります。先ほどの市税はほとんどこの義務的経費に投入されていますから、本当に余裕がないどころか厳しい状況であると断言出来るのです。

皆さんは安全で安心して住めるまちづくりを期待して税金を納めて下さっているわけですが、それを実現する投資的経費いわゆる道路や学校の建設事業や維持補修経費はどんどん縮小されてきました。

これは現在の仲川市長の事業縮小方針にもよりますが、このことで本当にまちの状況は悪化しているといわれています。

近隣の天理や大和郡山そして生駒から一旦奈良市に入りますと道路はヒビだらけ歩道は草が伸び放題で苦情は絶えないところであります。このような財政状況はすぐさま改善できるようなものではありませんが、奈良市では行財政改革と呼んで平成14年頃から数々の試みを実施してきましたが、未だ抜本的な立て直しには至っていない状況です。このことは、私も議会の場で何度も質問して意見を申しました。

次のページに目を移して下さい。これからは本年度の主な政策や施策について3つの柱に基づいて示されていますが、ここでも主な施策についてだけ説明させていただきますその中にある問題点や良い点悪い点などをお話しさせていただきます。

まず第1項目の「安全・安心な暮らしの実現」のなかの1番上ですが仮称奈良市子供センター建設事業の設計を行うとしています。いわゆる児童相談所であり本来は奈良県の責任分野ですが中核市である奈良市はその事務を担うことが出来ることから施設建設を決めたのであります。

しかし、この財政状況の厳しい時期にかなりの規模の施設建設費用と開設には相当の職員採用が伴うために議会内部にはかなりの慎重論が占めておりました。しかし市長は令和3年度の開業を目指すとして強引に方針を定めたのであります。当初はご存じの県立奈良病院跡地にその周辺のまちづくりの検討の中で県との協議が行われていましたが、県の慎重なまちづくり検討スケジュールと仲川市長の急激な建設推進論がかみ合わず、この場所での計画を断念すると市から発表されておりました。しかしその矢先11月29日の定例市議会の開会挨拶の中で仲川市長は突然柏木公園に子どもセンターに建設する方針を打ち出したのであります。

常にこのような突然の政策や事業の重要な発表がされるのが現市長のなされようですが、議会においてもこれからこの計画はしっかりと議論していかなければならないと思っています。

確かに子どもセンターの設置は政策としては良いことですが急ぎ過ぎではないか、財政状況への影響はどうか、都市公園は減らすと別の場所でその面積を確保する必要があるのですが、どこにその補填をするのか、その財源はどのように考えるのか等課題は山積みであります。それに加えてまたもや柏木公園の土壌問題が発覚しており、今後は周辺の住民対策や環境整備の問題もでてきますので皆さんもこの計画の動向には是非注目していただきたいと思っております。

次に一つ飛ばして公共施設の老朽化対策と道路橋梁維持補修についてであります。奈良市の公共施設は昭和50年代から平成の序盤に建てられたものが多く経年による老朽化は相当進んでいます。先ほど人口急増による学校の新築増築に至っては建設後40年となっているものが多くあり、そのため雨漏りや電気系統の故障は児童や生徒には不安な環境となっています。ここに書いてあります「なら100年会館」においては施設の館内で傘をさして歩かなければならないと聞いており笑い話にも出来ない状況のようです。

また道路においても昭和50年前後に整備した道路が何度もひび割れや穴ポコが発生してその都度応急措置されてきたものが一斉に悲鳴をあげる状態となってきています。

ここで私がご報告したいのは、この維持補修費が約12億円ですが、仲川市長就任前までは着実に増額して対応されてきたものが、市長の方針により建設関係事業の予算が縮小されると共に減額され、平成24年以降は12億円程度、昭和50年前後と同じ決算が続いてきたのであります。

私は議会の質問において事有るごとに、このことに対する危惧を訴えてまいりました。公共施設、いわゆる道路や公園、河川そして学校、公民館や文化施設、スポーツ施設は市民が利活用をする上でまず安全が確保されなくてはならないものであります。特に道路や橋梁、公園そして学校の安全が確保され綺麗であることは市民が一番望むことではないでしょうか？まさしく税金の使い道として望まれていることと思っております。この経費が建設事業縮小の名目で減額されてきたことにはかなりの問題意識をもっておりこれからも追及そして要望を続けてまいりたいと思っております。

次のページをご覧ください。二つ目の項目であるまちづくりの推進についてであります。まず最初の大和西大寺駅周辺整備についてですが、平成2年頃から具体的に始まった事業は約30年を経てようやく概ねの完成が近づいてきたとご報告できます。特に南側はほとんどが田畑であったものが、9ヘクタールの区画整理事業が進み多くのビルや住宅の建設とともに病院や福祉施設スポーツ施設が開業して奈良の都市開発としては一番進んだのではないかと思っております。これからは、5200平方メートルの南駅前広場が整備されバス路線が導入されますと奈良県総合医療センターなどへの利便性が高まると共に観光客の輸送体制もしっかり図れると思っております。ここに書いてありますように駅の南北を自由通路で自在に行き来できるに工事が実施されており令和2年度末にはこの工事も完了する予定であります。この事業での課題は北側の整備であります。皆さんご承知のように北側はもともと狭隘な道路と古い町並みにより開発が難しい状況であり、これまでの計画された市街地開発事業や街路事業がことごとく頓挫して断念されております。しかしながら、南側の整備が進む中駅周辺の総合的な都市整備を望む声は高く、しっかりとした整備計画を早急に示されるべきと思っております。

次の八条大安寺周辺地区のまちづくり基本計画の策定についてですが、この整備計画には私たちも十分に注意をしなければならぬと思っております。ここには、JRの新駅が設置されると共に京奈和自動車道の奈良インターチェンジや街路事業で西九条佐保線が整備されることにより一気に都市整備が進むことが期待されるのであります。私は議会の質問の中でこの計画に関連して、重要なことはこの地域のまちづくりをどのように考えていくのかという問いかけをしてまいりました。私たちが期待するのは街の活性化であり、それにより土地利用が進むことでもあります。そのためには行政が大型商業施設を誘致することや文化スポーツ施設を誘致して民間による活性化が進むことに努力されるべきと思っております。

次のクリーンセンターの建設については奈良市の北東部の地域に建設計画を示した仲川市長は地元住民の猛反対を受けてこの計画を断念いたしました。先日議会の質問に答えて七条町周辺を候補として計画を検討中であると突然表明をしましたが、このことに議会は一斉に反発をしております。これまでどれだけの準備があったのかも不明で地元調整も進めているかのようにされておりますが、全くの唐突な話でありこれから周辺住民の方々もしっかり見守っていただきたいと思っております。この進め方は次の新斎苑整備事業で強引に地元の反対を押し切り議会の多数派工作で計画策定や予算そして工事契約の決定を確保してきた手法をそのまま利用しようとしている思いが感じ取れるのであります。

説明が長くなり申し訳ございませんが、あと2点ほどお聞き下さい。次のページの3つ目の項目ですが行政サービスの効率化ですが窓口システムの改善において少し注目したことがございます。それは「おくやみコーナー」というものが設置され、マニュアルも整備されたことでもあります。これまでお身内でご不幸があった場合、市民課や税務部門そして年金関係、さらには国民健康保険や後期高齢者医療の手続きなど個別に手続きをしなければならず、ご不幸事でお疲れに鞭打つようにたらい回しのように市役所を回らなければならなかったのですが、今後はこの「おくやみコーナー」を訪ねていただきますと市役所は勿論のこと関係する手続きについてしっかりと対応していただけると聞いております。よく市役所のワンストップサービスという言葉が聞きますが、

このような対応により、市役所がより分かりやすく安心して手続きができるような整備をこれから要望してまいりたいと思っております。

最後にこのページの枠の中をみて下さい。市の借金が平成30年度から27億円も減ったと示されておりますが、これについては皆さん騙されないで下さい。本年度予算での全会計の借金の残高は2千6百46億円ですが、仲川市長就任前の平成20年度当時の残高は約2千5百億円であり総額として増加はしております。勿論、確かに前年度からは減っており、増加にはいろいろな理由がありますが、私が問題視しているのはこのような紛らわしい記載はどうかと思っております。

さらには「ならしみんだより」の11月号には市長のマニフェストの進み方が2ページ見開きで掲載されていましたが、これにも議会は疑問視をしています。市長がご自分の機関紙等で発表されるのはご自由ですが、税金を持って15万部も市民に配布される広報誌に選挙公約の成果をご披露されることには私たちが驚いた次第であります。

以上で本年度の予算の発表記事に関連して私なりの考えやご意見を加えてご報告させていただきました。少し現体制に対する批判的な発言があったかもしれませんが、私の政治姿勢は正しく見ることであり、是は是・非は非としての思いをもって議会活動をしてまいりましたので、今後もこの理念のもと頑張ってまいります。

市政に対するご意見ご要望をどんどんお届けしていただきますようよろしくお願いいたします。お時間をいただきながら、大変つたない説明で申し訳ございませんでしたが、これをもちまして市政の現況報告とさせていただきます。有難うございました。

奈良西RC通信7

奈良新聞1月16日掲載

奈良西ロータリークラブ会長

安井 清悟さん (58)

奈良西ロータリークラブでは9日、バラで有名な奈良市の靈山寺で新年会を行った。同寺の東山光秀僧長が当クラブの会員で、毎年の恒例行事となっている。今年は会員の奥さま方も参加、抽選会あり、余興ありで楽しい時間を過ごした。

新年となれば新たな気持ちで奉仕活動に望むものだが、ロータリーは7月に新年度が始まる。1月はちょうど半年経過した時期になる。私たちは12月までさまざまな奉仕事業を奈良市内で行ってきた。残る半年は職業、青少年奉仕などが事業の中心となる。

1月は職業奉仕月間。奈良市域の会社の中で優秀な働きをされている社員の皆さんを、例会で表彰させていただいている。また会員が従事する職業を通して奉仕活動をすることも職業奉仕とされている。

本年度の活動もあと半年。それぞれの奉仕月間の活動に力を入れていきたいと考えている。

新年は活動の折り返し

私たちがクラブをはじめ、県内14クラブの活動を見守っていただきますよう、よろしくお願いたします。

第3木曜掲載予定

奈良西ロータリークラブ 7

通信

新年会と職業奉仕



抽選会や余興を楽しんだ新年会参加のメンバーら＝奈良市中町の靈山寺

第23回(通算2391回)例会予告
例会日 令和2年2月6日(木)

理事会

卓話:「家業から梅酒事業へ」
チヨーヤ梅酒株式会社
専務取締役 金剛 俊二様